

ジェリー・ブラッカイマー、シモーヌ・アシュリー、 ハンス・ジマーが「F1®」の公開 に先駆け、 ジュネーブで開催中のウォッチズ・アンド・ワンダーズ でIWCシャフハウゼンのブースを訪問

シャフハウゼン/ジュネーブ、2025年4月3日：IWCシャフハウゼンは、ジュネーブで開催中の国際時計見本市「Watches and Wonders 2025」で、近日公開予定の「F1®」とのパートナーシップを記念した新作モデルを発表しました。メルセデスAMG ペトロナス フォーミュラ・ワン™チームの公式スポンサーを務めるIWCは、本映画では架空の第11F1™チーム「APXGP」の公式スポンサーとして登場し、チームとのつながりをスクリーン上でも示しています。ジョセフ・コシンスキーが監督を務め、ジェリー・ブラッカイマーや7度の世界チャンピオンに輝いたF1ドライバーのルイス・ハミルトン、更には、ブラッド・ピットが所属するブランBエンターテインメントといったオールスター・チームが製作を担当するこの映画は、モータースポーツの放つアドレナリンをかつてないほどリアルに再現することを目指しています。アカデミー賞にノミネートされたプロデューサーのジェリー・ブラッカイマーがCEOのクリストフ・グランジェ・ヘアと対談し、このレベルの映画の製作について独自の見解を披露しました。また、同映画の音楽を手掛け、アカデミー賞を2度受賞した作曲家ハンス・ジマーもこのイベントに出席しました。

IWCシャフハウゼンは10年以上にわたり、メルセデスAMG ペトロナス フォーミュラ・ワン™チームの「公式エンジニアリングパートナー」を務めてきました。この実績を基に、IWCは近日公開予定の「F1®」に登場する架空の11番目のチーム、APXGPの公式スポンサーとして、モータースポーツへの情熱を大画面に映し出しています。この映画は、実際のグランプリ™レースを舞台に、俳優たちが本物のレーシングカーを運転して撮影されました。

APXGPにインスパイアされた新作時計の発表を記念して、シモーヌ・アシュリーがジュネーブで開催中のウォッチ&ワンダーズの会場にIWCを訪れました。映画「F1」の撮影にも携わったこの有名女優を、IWCのCEOであるクリストフ・グランジェ・ヘアとCMOのフランツィスカ・グセルが出迎え、映画からインスピレーションを得たデザインとIWCとレーシングスポーツを特徴づける精度と革新性を打ち出したブースに、彼女を案内しました。

ブースには、映画で使用されたオリジナルのレースカーが2台展示されています。これらは、本物のF2車両をフォーミュラ1の車両に似せて改造したものです。レーストラックのアクションを映画でリアルに再現するために、クルーは軽量でコンパクトな新しいカメラシステムを設計し、

それをマシンに組み込む必要がありました。展示されたレーシングカーのうち1台には、メルセデスAMG GLE 63Sのルーフに電動カメラクレーンを搭載したカメラカーが付属しています。-映画「F1」では、複雑で非常にダイナミックなトラックショットの撮影のためにこれらのシステムが使用されました。ブースにあるもう1台のレーシングカーは、撮影中にクラッシュしたもので、モータースポーツのアドレナリンとアクションをできるだけ忠実に再現するために、どれだけの努力が払われたかを示しています。

IWCは、「APXGP」の公式チームスポンサーの1社として、俳優のハビエル・バルデムやケリー・コンドンが着用するものから、メカニックやエンジニアといったチームメンバーが着用するものまで、チーム全員に時計を提供しました。ブース内にはそれらの時計が展示されています。

今回のブース訪問で、シモーヌ・アシュリーは新作「インデュニア・オートマティック 35」(Ref.IW324903)を着用しました。「インデュニア」コレクションに加わったよりコンパクトなこの新モデルは、35mmの18Kレッドゴールド製ケースとプレスレットを備え、ゴールドカラーの文字盤を備えています。

ジェリー・ブラッカイマーが語る舞台裏

IWCは、CEOのクリストフ・グランジェ・ヘア とジェリー・ブラッカイマー氏による特別なトークイベントを開催しました。彼らは、エンジニアリングを示す映画と高級時計製造の共通点、そしてFORMULA 1と長く結び付きを持つIWCの伝統が、映画の興奮を誘うストーリー展開とどのように調和しているかについて語り合いました。観客に映画の舞台裏のユニークな洞察を語った両氏は、映画製作にまつわる個人的な逸話も披露しました。この場で、ブラッカイマーはグリーンの文字盤を備えた新しいステンレススチール製のインチュニア・オートマチック 40 (Ref. IW328908) を着用しました。この限定モデルは、映画の中でソニー・ヘイズが着用した特注のインチュニア SL (Ref. 1832) にインスピレーションを得たものです。

さらに、アカデミー賞を受賞した映画音楽の作曲家であり、長年にわたってブランドのアンバサダーを務めるハンス・ジマー氏も二人の会話に加わり、この映画の音楽を会場に流しながら、その背景にあるインスピレーションについて説明しました。この場でジマーは、4500万年の精度を誇るムーンフェイズを備えたIWC初のセキユラー・パーペ

チュアル・カレンダーである「ポルトギーゼ・エターナル・カレンダー」(Ref. IW505701) を着用しました。

ワーナー・ブラザーズ映画が今夏公開を予定している Apple Original Filmsの「F1」は、ジョセフ・コシンスキーが監督を務め、ジェリー・ブラッカイマー、コシンスキー、ルイス・ハミルトン、ブラッド・ピット、デデ・ガードナー、ジェレミー・クライナー、チャド・オマンらがプロデューサーを務めています。主演のブラッド・ピットは、ダムソン・イドリス演じる新人のチームメイト、ジョシュア・ピアースとともにF1™に復帰した元ドライバー、ソニー・ヘイズ役を演じます。このほか、ケリー・コンドン、トビアス・メンジース、キム・ボドニア、ハビエル・バルデムらも出演します。

Apple Original Films Presents a Monolith Pictures / Jerry Bruckheimer / Plan B Entertainment / Dawn Apollo Films Production, A Film by Joseph Kosinski, F1 配給：ワーナー・ブラザーズ映画、2025年6月27日より全国劇場およびIMAXにて、2025年6月25日より全世界にて公開。

F1®の公式トレーラーは[こちら](#)から

IWCシャフハウゼン

IWCシャフハウゼンは、スイス北東部のシャフハウゼンに拠点を置く、スイスの大手高級時計メーカーです。ポルトギーゼやパイロット・ウォッチなどのコレクションを擁するこのブランドは、エレガントな時計からスポーツ時計まで、あらゆる種類の時計を扱っています。1868年、米国の時計技師でエンジニアでもあったフロレンタイン・アリオスト・ジョーンズが設立したIWCは、人間ならではの職人技と創造性、その最良の部分と最先端の技術および工程とを組み合わせ、時計製造に対する独自のエンジニアリングで知られています。

150年以上にわたる歴史の中で、IWCは精巧かつ丈夫で使い勝手のよいプロ仕様の計器時計や、複雑機構（とりわけクロノグラフとカレンダー機能）を組み込んだ時計をつくり、高い名声を得てきました。チタンやセラミックの採用の先駆者であるIWCは、現在、カラーセラミック、セラタニウム®、チタンアルミナイドなどの先進的な素材を用いた、高度なエンジニアリングと専門知識を駆使したケースも製造も行っています。

持続可能な高級時計の第一人者であるIWCは、責任をもって素材を調達し、環境への影響を最小限に抑えるための努力を惜しみません。透明性、循環、責任という3つの柱に沿って、このブランドは何世代にもわたって長持ちする時計をつくり、責任をもって製品を製造、流通、修理するためのあらゆる要素を継続的に改善しています。さらに、IWCは子供たちと青少年への支援に向けて世界的に活動している組織とも提携しています。

ダウンロード

画像はpress.iwc.comで無料でダウンロードいただけます。

お問い合わせ

IWCシャフハウゼン

広報部門

Email press-iwc@iwc.com

Website press.iwc.com

インターネットおよびソーシャルメディア

Website iwc.com/ja

Facebook facebook.com/IWCWatches

YouTube youtube.com/iwcwatches

LinkedIn linkedin.com/company/iwc-schaffhausen

[iwc-schaffhausen](https://linkedin.com/company/iwc-schaffhausen)

Instagram instagram.com/iwcwatches_jp

Pinterest pinterest.com/iwcwatches

#IWCwatches